

平成29年3月3日

熊谷学園 2-3 期 南京玉すだれクラブ(49回公演)報告

29.3.2 デイサービスふくしのまち熊谷平戸 熊谷市平戸

「南京玉すだれ」を始めて3年なり、今まさに50回目目の公演です。

好評だった熊連協芸能祭以来の公演です。午前中は「くまびあ」で芸能祭の反省を込めた定例の練習をした後昼食をとって熊谷市内の施設に向かいました。

今日伺う施設は昨年7月に社協からの依頼で公演し、2度目の公演です。小雨模様でしたが1時30分は予定通り着き職員の案内で部屋に通され着替えて準備をしました。

この施設は介護用品を扱う企業の経営で県内各地に設けられており、比較的小規模の施設ですが地域密着型を売りにしていると言われていました。

2時からの開演で既に30名弱程のデイサービスの方々と職員が待っていてくれました。

施設からの短い挨拶の後、我々の進行で公演が進められました。集まった皆さんの中には以前の訪問を覚えていてくれた人もいました。今日の衣装は前の作務衣から祭り半纏で、「東京五輪音頭」に合わせた衣装で臨みました。

まずは短い挨拶の後、いつものように舂田さんの「南京玉すだれ」の口上と節唄と「玉すだれ技」の演技で始まりました。続いて「玉すだれ」の仕組み、動きそして由来をお話し、栗原さんからの曲の紹介で「きよしのズンドコ節」を演技しました。次の体験コーナーでは全員の方々に触ってもらい「玉すだれ」を持った姿で写真に収まっていた。根岸さんの健康体操では、会場全員の人と一緒に曲に合わせて体を動かし2回目の体操が終わる頃にはホカホカ状態になって体が厚くなるのを感じました。

最後に「東京五輪音頭」です。栗原さんの「みなさん。4年後の東京オリンピックには皆で一緒に行きましょう。」という元気な声での紹介で演技が始まりました。曲に合わせた手拍子も一段と大きくなり全員ニコニコ顔の内に公演が終わりました。帰りには手造りの「さくら餅」をお茶と共に戴き「ひな祭り」に相応しい公演でした。



